

第39回 印刷年始会

日 時 平成29年1月20日(金)17:30~
場 所 鹿児島サンロイヤルホテル 太陽の間

開催事務局



鹿児島県印刷工業組合

第39回 印刷年始会プログラム

司会 月野 るり子

開 会

国歌斉唱

主催者挨拶 鹿児島県印刷工業組合理事長 岩重昌勝

来賓紹介

祝 辞 鹿児島市長 森 博幸様

鹿児島県中小企業団体中央会 会長 小正芳史様

祝電披露

開 宴

乾 杯 鹿児島県印刷工業組合 副理事長 益山正義

祝 宴 MASATO

中 締 め 九州印刷材料協同組合 理事長 土井健二様

※ お願い 乾杯のあとの祝宴中は、席をお立ちにならないようお願いします。

来賓ご芳名

- ◇ 鹿児島県 商工労働水産部次長 堀之内 健 郎 様
- ◇ 鹿児島市長 森 博 幸 様
- ◇ 日置市長 宮 路 高 光 様
- ◇ 株式会社島津興業 取締役相談役 島 津 公 保 様
- ◇ 鹿児島県中小企業団体中央会 会長 小 正 芳 史 様
- ◇ 鹿児島県中小企業団体中央会 専務理事 永 田 福 一 様
- ◇ 日本銀行鹿児島支店 支店長 林 健 司 様
- ◇ 商工中金鹿児島支店 支店長 堂 園 哲 也 様
- ◇ 株式会社日本政策金融公庫鹿児島支店 中小企業事業統轄 広 瀬 重 弘 様
- ◇ 株式会社鹿児島銀行 取締役融資部長 碓 山 浩 美 様
- ◇ 株式会社南日本銀行 営業統括部長代理 岩 下 幸 利 様
- ◇ 鹿児島県議会議員 福司山 宣 介 様
- ◇ 鹿児島県印刷工業組合官公需対策担当顧問 鹿児島市議会議員 小 森 孝 文 様

友好参加者

- ◇ 医療法人聖心会かごしま高岡病院 理事長 高 岡 茂 様
- ◇ 畑野労務管理事務所 特定社会保険労務士 畑 野 昌 作 様
- ◇ 鹿児島サンロイヤルホテル 常務取締役総支配人 池 田 司 様
- ◇ 株式会社 KRC 集団扱い担当 黒 田 従 久 様

※来賓ご芳名は順不同とさせていただきます。



鹿児島県印刷工業組合
理事長 **岩重 昌勝**

年始会に寄せて

平成29年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

組合員並びに賛助会員そして関連産業の皆様にかかれましては、平素より組合活動へのご理解とご協力を賜り、心より厚く感謝申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、マスコミの予想とは裏腹に次期アメリカ大統領にトランプ氏が当選し、イギリスがEU離脱を選択しました。朴韓国大統領が任期を残して辞意を表明し、人心が大きく動いた一年であったと感じます。国内に於いては、4月に発生した熊本・大分の地震により多くの方が被害に遭われ、その影響は現在もなお続いております。特に熊本では自動車関連産業や半導体関連産業等の主要企業で、工場や製造設備が被災し、観光産業でも熊本城の損壊や阿蘇の噴火もあり観光客は減少し、経済に大打撃を与えました。印刷会社も社屋や工場が大きな被害に遭い、操業再開の目途も立たない状況でしたが、印刷関連業界を挙げた誠実で迅速な支援と、全国の同業者から寄せられた義捐金により、いち早い復旧が実現できました。特に熊本県工組が中小印刷企業の代表として、国庫補助の「グループ補助金」を交付申請し、組合員企業の復旧に大きな力となりました。これは組合の役割と価値を改めて認識できた事例となっております。

ところで昨年発表された国税調査で、我が国の人口が初めて減少しました。今後は本格的な需要の縮小に対応した、量より質が問われる、付加価値を創造できる企業が求められるでしょう。鹿児島県工組では、全印工連が昨年発表した「全印工連2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン」を羅針盤として、組合員企業の経営安定にお役に立てるよう尽くしてまいり所存です。最後に本年が皆様にとって実り多き素晴らしい一年となりますよう祈念し新年の挨拶といたします。



中小印刷産業振興議員連盟 会員
衆議院議員 **宮路 拓馬**

新年のご挨拶

鹿児島県印刷工業組合の皆様におかれましては、平成29年の新春を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

皆様ご承知のように、印刷業界を取り巻く環境は、①企業の広告宣伝費の削減によるチラシ・パンフレット等の印刷物の減少や印刷単価の低価格化、②インターネットや携帯電話の普及による書籍の電子化等のデジタル化の進展など、厳しい状況が続いています。

これらの課題に対し、業界の皆様におかれては、従来の印刷業だけではなく、事務処理業務の請負などの事業領域の拡大や、新しい技術・商品・サービスの開発に取り組んでいただいているところです。政府・与党としても、これらの取組への支援策として、①中小企業者等による革新的な「ものづくり・商業・サービス」の開発や中小企業等経営強化法に基づくIT導入の取組を支援する地域未来投資促進事業(1,001億円)、②下請取引の適正化に関する施策(特に印刷分野においては、下請けガイドラインの見直し)などを実施することとしています。

その他にも、印刷物の著作権の問題など、今後取り組んでいかなければならない課題が山積しておりますが、私も県内唯一の「自由民主党中小印刷産業振興議員連盟」のメンバーとして、皆様のご意向を体しながら、印刷産業をより魅力ある産業とするため、一層の努力をしておりますので、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈りし、新年のご挨拶といたします。



鹿児島市長 森 博幸

新年のごあいさつ

平成29年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

貴組合におかれましては、業界の発展はもとより、事業活動を通じた地域経済の発展や文化の振興に大きな役割を果たしておられますことに深く敬意を表しますとともに、かねてから市政の各面にわたり温かいご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年発表された国勢調査では、日本の総人口が初めて減少し、本市の人口も60万人を下回るなど、人口減少問題の克服に向けた実効性を伴う施策を展開していくことが喫緊の課題となっております。このような中、本市では、昨年、本格始動させた地方創生の取組に加え、今年、人口減少局面への移行を前提とした第五次総合計画について、その後期基本計画がスタートいたします。人口減少社会にあっては、観光振興など交流人口の拡大や若者の域外流出の抑制などが地域の発展・活力維持にとって大変重要になってまいります。今後、明治維新150年やNHK大河ドラマ「西郷どん」の放映、平成32年のかごしま国体の開催など、絶好の機会を最大限に生かした「まち」づくり、結婚・出産・子育て・就学・シニアライフなどの段階に応じたきめ細かな支援を通した「ひと」づくり、企業立地の推進や産学官連携による若者の地元定着の推進、人材や後継者の育成、販路拡大の支援等を通した、魅力的で安定した「しごと」づくり、に果敢にチャレンジしてまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、これまで長きにわたり培ってこられた高い技術力や企画・発想力を存分に発揮され、地域経済や文化振興の牽引役として一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸、業界の益々のご発展を心からお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。



全日本印刷工業組合連合会
会長 白田 真人

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年10月の「2016全日本印刷文化典ふくしま大会」には、全国から700名を超える方々にお集まりいただき、全印工連の団結と協調、さらには将来の業界発展に向けての課題や方向性を確認することができましたことは、全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げる次第です。

さて、昨年は、イギリスのEU離脱やアメリカ次期大統領にトランプ氏が選ばれるなど、国際社会が大きな転換期を迎える年となりました。国内では、リオデジャネイロオリンピックで日本選手団が大健闘するなど明るいニュースもありましたが、熊本地震や台風による災害の影響や「爆買い」の一服、個人消費の伸び悩みなど景況は依然として不透明感の残る年となりました。

このような中、全印工連では昨年5月に「全印工連2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン」を発表し、私たち印刷産業が今後10年間、どこに目標を置き社会に貢献していくのか、そのためには何ができるのかを基調に「環境コラボレーション」、「地方創生産業クラスター」、「女性活躍推進」、「ダイバーシティ」、「CSR人づくり」の5つのテーマを掲げ、中小印刷産業のあらゆる可能性について模索を始めました。本年は計画をより着実に進める年となります。5つのテーマを中心に、産業として取り組むべき姿勢や進むべき方向性など具体的なプランを策定し、実践してまいります。

社会の期待に応えていくことが印刷産業の使命であり、これを志として日本全国の組合員企業とともに共有し、自信を持って大きな一歩を踏み出す年にしたいと考えております。皆様には本年も一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年が皆様にとって明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



鹿児島県中小企業団体中央会
会長 小正 芳史

年頭のご挨拶

平成29年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、かねてより、本会の事業推進につきまして、多大なるご支援・ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、我が国経済は、大企業を中心に回復傾向にあると言われておりますが、地方経済を支える中小企業者には波及効果が行き渡っていません。

さらには、深刻な人口減少、少子高齢化がますます深刻化すると予想されており、若年労働者の確保が一層厳しくなるなど、人手不足感が一層高まっております。

貴業界におかれましても、メディアの多様化や印刷の内製化等により印刷需要が減少しており、総合情報サービス業としての新たな役割が求められております。

これに対応するためには、常にユーザーニーズを把握するとともに、最新技術や設備を活用し、新たな価値の創造が実現できるよう組合員一丸となって取り組まれることが必要です。

本会では、昨年、「組合と共に明日を拓く!~九州はひとつ、復興へ共に挑戦~」をテーマに、九州内の1,400人余りの組合及び中小企業関係の皆様方の参加を得て第58回中小企業団体九州大会を開催いたしました。大会の中で審議・採択された7分野38議案は、今後の国政の礎となるよう強く要望して参る所存です。

また、「ものづくり補助金」の地域事務局として、この4年間で延べ500社以上の県内中小企業者に対し、40億円近い設備投資を後押ししてまいりました。

今年は、こうした取り組みが実り、県内の景気が上向いていくことを切に願っております。

同時に、従来からの組織化施策を中心とした様々な支援メニューを通じて、県内中小企業者の振興と発展に役職員一丸となって全力で取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力の程をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様方にとりまして、夢や希望の持てる、素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

《平成28年度勉強会》

2100年には5,200万人に 迫る「人口減少」の危機 『「あなただけ」のサービスが新しい日本をつくる』

石破茂衆院議員が全印政連「勉強会」で講演

自民党・中小印刷産業振興議員連盟（中曽根弘文会長）の石破茂顧問（衆議院議員）は平成28年11月17日、東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で開催された全印政連の「勉強会」で、「地方から創生するわが国の未来」をテーマに40分にわたり講演した。石破氏は、人口減少が日本にもたらす危機が間近に迫っていると強調した上で、各産業が各地域で生産性と独自性を高めながら「目いっぱい伸びる」ことが新しい日本をつくっていくことにつながると説いた。講演の概要は以下のとおり。



◀「印刷業界のことは皆さんが一番知っている。私どもができるお手伝いは精一杯していきたい。そして、新しい日本を共に作っていければ幸せだ」と呼び掛ける石破氏

万人は、若い人が少なく高齢者の多い5,000万人となる。ビジネスの世界では顧客が半分になるということだ。

今、日本経済がいま一つぱっとしないが、人口が減っては景気が良くなるわけがない。モノの値段も上がるはずがない。当たり前のことが当たり前のようになっているのだ。

安倍政権は大胆な金融緩和や機動的な財政出動などさまざまな政策を実行し、経済は少々元気になっているが、その間に経済の在り方を根本的に変えていかないと、この国はこれから先の人口減少社会を乗り切ることにはできない。それが一番の課題だ。

【地方をもう一度、雇用と所得を生み出す場に】

このままでは、食料やエネルギーを作り、出生率を支える地方はどんどん衰退に向かってしまう。食料もエネルギーも作らず、出生率が全国最低の東京だけが生き残る日本はあり得ない。地方がもう一度、雇用と所得を生み出す場であればならない。

昭和40年代半ばから50年代半ばまでの10年間は、地方が元気だった。その背景には、下水道や道路、空港、ダムなどの公共事業が全国的にあり、民間では、繊維や家電分野を中心に、同じようなものを安く大勢の人に向けたたくさん作る製造業に力があつた。それらが地方に雇用と所得をもたらしていた。

もちろん政治はこれからも、交通のミッシングリンク解消や防災工事など必要な公共事業や、各産業の振興策は展開していく。しかし、同じものを安く大勢の人にたくさん作るという形の製造業はもはや、中国や

【経済の在り方を根本的に変えるのは今】

日本の人口は、出生率・死亡率が今後、現状のまま続くとすると、恐ろしいほどに減っていくことになる。今、1億2,700万人いる日本人は83年後、西暦2100年には半分以下の5,200万人になる。さらに、約200年後の2210年には1,391万人、300年後の2310年には423万人にまで減るだろうと計算されている。

日本の人口が5,000万を超えたのは大正時代のこと。「大正の時代に戻るんだからいいじゃないか」という声もあるが、大正の5,000万人というのは、若い人が大勢いた5,000万人だった。これからの5,000



東南アジアの得意分野になっており、日本には向かない。かつてのように地方に雇用と所得をもたらす力にはならないだろう。

日本には世界を相手にしている大きなメーカーがたくさんあるが、そこで働いている人は労働者全体の2割程度、稼ぎ出しているGDPは3割に過ぎない。そのため、それ以外の産業がもっと生産性を上げて、1人当たりの稼ぎ高を向上させ、地方に雇用と所得をもたらすこと以外にこの国の生きる道はない。

【今だけ、ここだけ、あなただけ】

そのためにはどうすればいいのかとよく問われる。例えば岐阜県土岐市の美濃焼の焼き物会社は「茄子紺」と呼ばれる色の焼き物での再現を試行錯誤の上で実現し、フランスのブランド・クリスチャン・ディオールと取引が始まった。京都府のクリーニング店は高級衣料のクリーニングを高単価で請け負う業態を展開したところ、全国から顧客が付き、売り上げは「倍々ゲーム」だ。いずれも「あの会社でしかできない」という業態である点が共通している。「今だけ、ここだけ、あなただけ」というサービスがある。驚きと感動があるところに人が集まるのだと思う。

各地には独自性を追求したことで成功した印刷会社の事例がある。岡山県のスーパーは、カラー刷りのちらしをやめて白黒のちらしに転換し、よりたくさん、より早く配布することにした。その印刷を手掛けている印刷会社には情報産業として「今だけ、ここだけ、あなただけ」のサービスがあるのだと思う。

【何をすればいいかは各業界が一番知っている】

私どもはさまざまな業界と交流があるが、予算や支援策、法律がどうあるべきか、各業界でなければ分からないことがあるはずだ。印刷業界がこれから伸びていくために何をすればいいかは印刷業界の皆さんが一番ご存じだ。私どもができるお手伝いは精一杯させていただきますと思っています。

この国には残された時間はあまり多くない。それぞれの業界に目いっぱい伸びていただいて、新しい日本を共に作っていただければ幸甚だ。

自民党議連と「交流会」開催

全日本印刷産業政治連盟と自民党・中小印刷産業振興議員連盟（中曽根弘文会長）は平成28年11月17日、東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で、全印政連「勉強会」の終了後、交流会を開いた。議連からは議員本人と代理合わせて64人が参加し、親交を深めた。

冒頭、全印工連の白田真人会長が「議連の先生方のご支援をいただき、印刷産業をしっかりと前に進めるとともに、この国の経済を各地方からお支えしていこう」とあいさつした。中曽根会長は「全国どんな都市を訪れても中小印刷会社はがんばっている。皆さんの仕事が継続・発展するよう、議連設立の趣旨にのっとってしっかりと支援に取り組んでいきたい」と語った。

業界・政策ニュース

「最低制限価格制度」で実態調査

全日本印刷工業組合連合会（白田真人会長）は、官公需の「最低制限価格制度」をめぐる課題を把握するため昨年11月、実態調査を開始した。官公需取引を行っている全国の組合員に調査票を配布した。

全印工連では各都道府県・市区町村の官公需の実態をつかんで課題を抽出し、課題解決に向け、自民党・中小印刷産業振興議員連盟や経済産業省に働き掛けていきたい考え。

調査では、官公庁からの発注事例を具体的に挙げてもらい、契約方法や予定価格の積算方法、ダンピングの防止策などの現状を記入してもらう。

集計結果は官公需対策全国協議会等で発表する予定。

自民党「政策懇」で森永会長が意見

自民党は昨年10月20日、東京都千代田区の党本部で、9つの業界団体等を招いて政策要望を聞く「予算・税制等に関する政策懇談会」を開催した。全印政連からは森永伸博会長らが出席した。

森永会長は、中小印刷業界がかねて要望している税制と官公需分野について意見を述べた。

法人税の軽減税率については「年800万円以下の所得に対して適用されている15%の軽減税率を、年1,600万円以下に引き上げていただきたい」と要望した。

官公需の最低制限価格制度の導入については、「一刻も早い低価格競争防止策として、国から地方自治体に強力に指導してほしい」と強調した。

知的財産権に対する対応についても触れ「県・市の印刷発注仕様書を見ると、印刷物制作に伴って著作権が生じる場合、その著作権は県・市に帰属するという文言が多く見られる。中には、無償で帰属を求められるケースもある。本来、印刷会社に帰属する著作権の取り扱いについては、関係法を遵守し、強制的な権利の引き渡しや譲渡を仕様書に記入することは控えてほしい」と語った。

入札資格条件における資格保有者の優遇についても要望。「適正価格による入札、瑕疵のない安心・安全な製品の提供を担保するため、技能検定制度および技能審査認定制度の資格保有者（企業）に対する優遇措置の導入をお願いしたい」などと要請した。

印刷は地方創生のプレイヤー

自民党 衆議院議員 西村 明宏



明るく希望に満ちた平成29年の門出にあたり、皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、全印政連、全印工連をはじめ宮城県印刷工業組合の皆様には格別な御厚情を賜り心より感謝申し上げます。

現在、私は衆議院国土交通委員会の筆頭理事として、国土交通行政の更なる発展と、関連する建設業、運輸業、造船業、観光業、宿泊業等の振興、「東北の未来創生」に全力で取り組んでおります。言うまでもなくこれらの産業は、皆様が開く印刷業と共に地域経済の維持発展のために大きく寄与するものです。

印刷業界はデジタル化の進展の中にありますが、今まで蓄積された技術や経営資源は他の産業に負けない素晴らしいものがあり、今後も、地方創生のプレイヤーとして御活躍いただきますことを大いに期待いたしております。私も全国で地域の発展に御尽力頂いている中小印刷業の皆様が今後共、成長を続けられるように努力してまいります。

本年が皆様方にとりまして希望に満ちた、明るい年となりますよう御祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

全印政連と共に印刷業のために

自民党 衆議院議員 富樫 博之



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

全印政連、全印工連の皆様には、日頃よりご指導賜り深く感謝申し上げます。

私は現在、第3次安倍改造内閣の総務大臣政務官として、「地方からの視点」を大切に全力で活動しております。

国政は2期目ですが、平成7年に秋田県議会議員に初当選以来、地元印刷業者の皆様にはポスター、リーフレット等大変お世話になりました。

県議時代には、秋田県の印刷業界の為、製造請負契約に向けた取組を秋田県中小企業団体中央会と共に働き掛け、全国でも早期に、製造請負契約とする事が出来ました。その後平成24年4月には最低制限価格制度の導入も開始になり、少なからず貢献出来たと思います。

これからも、全印政連、全印工連の皆様と共に印刷業における財産権の保護、並びに低価格競争防止策の導入の為、全力で頑張っていく所存であります。皆様方連盟の益々のご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

印刷は縁の下の力持ち

自民党 衆議院議員 原田 憲治



全印政連の皆様には、日々、産業基盤の強化と業界の発展に取り組み、国民生活の豊かさや文化の向上に寄与いただき深く感謝申し上げます。

さて、私は現在、総務副大臣の職にあり、地域振興・地域活性化に取り組んでいます。各地域の印刷会社の皆様は、地域振興の観点からも不可欠の存在だと考えております。例えば、くまもんに代表されるキャラクター（ゆるキャラ）を活かした地域振興の取組。魅力的なキャラクター達が国内各地でそれぞれの地元をPRしてありますが、その際、印刷物をはじめとしてコンテンツの企画やデザインに力を発揮されているのが印刷業界の皆様です。各地域の創意工夫を支えていただいている皆様は、地方創生を力強く推進していくための、いわば縁の下の力持ちであると思います。皆様と一緒に地域経済の好循環を生み出す取組に力を尽くしてまいります。

全印政連の更なるご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。

組合関係参加者

(株)朝日印刷

代表取締役 前田城輔
 取締役生産管理本部長 前野上宗一
 取締役営業本部長 小長郁夫
 資材管理室室長 永井弘毅
 プリプレス部部长 牛濱康博
 営業部マネージャー 迫田正広
 営業部マネージャー 手島洋人
 生産管理部次長 有馬鉄一郎

天野印刷(株)

代表取締役 天野玄一
 専務取締役 天野完二
 取締役営業部長 木佐貫良一

エス・パックス(株)

代表取締役社長 下園廣一

オダ精巧社印刷(株)

代表取締役社長 三重野孝一

かわち印刷(有)

代表取締役 河内志郎

(有)錦江印刷

専務取締役 岩倉克太郎

(有)木山印刷所

専務取締役 木山俊介

キャノンマーケティングジャパン(株)

鹿児島営業所長 松村裕幸
 本部長 清成信也

(株)共同紙販ホールディングス

取締役常務執行役員 金谷吉之助
 執行役員鹿児島支店長 小齊平均
 営業部副部長 上原康治
 営業部次長 小西哲也
 営業部次長 新屋直生

児島洋紙(株)

取締役社長 安部城治
 鹿児島営業所所長 池田勝城
 鹿児島営業所課長代理 梶井秀一

(有)笹山印刷

代表取締役 笹山雄司

(有)創文社印刷

取締役会長 迫田寅雄
 代表取締役 井ノ口充博

(有)新光印刷

代表取締役 宮武秀一

(株)千代田サプライ

営業課長 古賀俊徳
 長谷 昇

(株)トライ社

代表取締役 濱田眞民
 専務取締役 黒瀬廣幸
 常務取締役 山口慎吾

日進印刷(株)

代表取締役社長 二之宮進太郎
 取締役専務 平野知宏
 取締役製造部長 児玉淳二
 取締役総務部長 大脇和仁

濱島印刷(株)

代表取締役社長 前田幸一
 生産本部工場長 石崎研一郎

プリントネット(株)

代表取締役 小田原洋一
 製造部資材課課長 内倉稔美
 販売営業部課長 鳥丸正美
 販売促進部課長 川野正一

(株)益山印刷

代表取締役 益山正義

南日本印刷材料(株)

宮永優一
 山下貴司

(株)南日本新聞開発センター

取締役 熊須修一
 営業部長 堀田健潤
 営業部課長 溝口潤

(有)モタニ印刷

代表取締役 茂谷浩司

(有)山之内印刷

代表 中島健治

協業組合ユニカラー

理事長 岩重昌勝
 専務理事 鈴木木順子
 常務理事 新勝彦
 常務理事 松崎洋一郎
 営業部部長 生野忠男
 営業部次長 大山保三
 営業部課長 木原孝三
 製造部管理課課長 東文孝
 製造部仕上課課長 徳永友廣

(株)レイメイ藤井

代表取締役社長 藤井章生
 鹿児島支店取締役支店長 新原治秋
 洋紙事業本部取締役本部長 伊藤竜夫
 洋紙事業本部副本部長 前川統里
 鹿児島支店洋紙部課長 江口修一
 鹿児島支店洋紙部主任 田中公平

富士ゼロックス鹿児島(株)

代表取締役社長 金子努
 営業統括部POD-Gグループ長 大田裕之

(株)イースト朝日

常務取締役 末永信一
 営業部長 竹下賢治
 工場長 前屋芳文

(有)高崎製本

代表取締役 高崎勝喜

(株)あすなろ印刷

代表取締役 加世堂雅美
 専務取締役 加世堂雅樹

(株)キングコーポレーション

鹿児島支店長 宮園芳秋
 係長 田中清貴

大阪シーリング印刷(株)鹿児島営業所

営業2課課長 鮫島慶太

(株)新生社印刷

代表取締役社長 岡崎洋人

新大同印刷(株)

取締役会長 宮司保

(株)総合印刷

代表取締役 久保健太郎

関連業界ご芳名

(株)網中

取締役営業本部長 大庭弘司
 鹿児島支店支店長 大串隼人
 鹿児島支店支店長代理 谷口護

九州印刷材料協同組合

理事長 土井健二

九州大日精化工業(株)

代表取締役社長 伊藤聡一郎
 係長 戸渡聡一

旭洋紙パルプ(株)福岡支店

支店長 久留島健二
 支店次長 岩成忍
 洋紙課課長代理 新納亮

(株)光文堂熊本営業所

所長 佐々木浩二

国際紙パルプ商事(株)九州支店

営業部部長 中舎正紹

コダック合同会社

営業 三角淳一

(株)小森コーポレーション九州支店

九州支店長 河村浩太郎

サカタインクス(株)南九州営業所

南九州営業所長 池上宏

(有)さつまグレーニング

代表取締役 須ヶ牟田和幸

中越パルプ工業(株)川内工場

執行役員工場長 要堺由隆
 工場次長 石原秀樹

中越パルプ工業(株)福岡営業所

福岡営業所所長 稲積勉

(株)T & K TOKA福岡支店

営業課課長 荒木孝介
 営業課 中西敬王

DICグラフィックス(株)

鹿児島営業所長 藤村徹

東洋インキ九州(株)

代表取締役社長 木戸清高
 南九州営業部部長 宮崎宏之

西日本製本機材(株)

技術部部長 竹内充人

日米礦油(株)鹿児島支店

吉元孝

日本アグファゲバルト(株)

九州支店支店長 緒方浩司

日宝綜合製本(株)

課長 金重龍生

日本紙パルプ商事(株)九州支社

九州支社支社長 山本紳一郎

日本製紙(株)九州営業支社

支社長代理 中村寿彦

(株)日本 HP

デジタルプレス事業本部
 エリア営業本部本部長 奥苑一臣

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)

九州支店支店長 市枝章
 課長代理 清水教弘

(株)ふちかみ

常務取締役 宮原卓治
 営業部営業部長 宮脇和広
 営業部営業課長 五島智幸
 営業 牧田幸博

北越紀州製紙(株)

片岡和人

丸住製紙(株)九州支店

九州支店支店長 松木潤一郎

(株)丸善紙店

代表取締役 福元清輝

萬誠社印刷(株)

鹿児島営業所営業係長 米玉利哲也

(株)ムサシ

課長代理 坂田稔明

(株)メディアテクノロジージャパン

福岡支店長 谷建二

(株)モリサワ

鹿児島営業所所長代理 田之江安俊
 新屋幸二

リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)

西日本支社長 高橋秀則
 営業担当課長 平野英典

祝宴プログラム

MASATO

鹿児島出身。
たぎる薩摩の唄うたい。
歌声に込められた情熱と、人情味あふれる楽曲、圧倒的パワーのステージングが魅力のシンガーソングライター。
2012年より熊本で活動を開始。熊本のTV局・企業のCMソングなどで認知を獲得し、毎年100本を超えるライブを精力的に行った。
2016年鹿児島へ帰郷後、自身の番組としてMBCラジオ『たぎる薩摩の唄うたい』をスタート。鹿児島の魂をテーマにした『TAGIRU』『桜島賛美』などを含む新アルバムを2017年春に発表する。



2016年 国内外10大ニュース

WORLD

- 1位 米大統領にトランプ氏
- 2位 英、EU離脱を決定
- 3位 朴韓国大統領が辞意
- 4位 米大統領がキューバ訪問
- 5位 テロ続発 日本人も犠牲
- 6位 「パナマ文書」が波紋
- 7位 パリ協定発効、日本も批准
- 8位 北朝鮮が2度の核実験
- 9位 仲裁裁判所、中国主張を否定
- 10位 ボブ・ディラン氏にノーベル賞

JAPAN

- 1位 天皇陛下、退位に強い思い
- 2位 熊本地震 2度の震度7
- 3位 参院選で与党が大勝
- 4位 オバマ米大統領、広島へ
- 5位 知的障害者施設で19人刺殺
- 6位 選挙権年齢「18歳以上」に
- 7位 日銀が初のマイナス金利導入
- 8位 リオ五輪で史上最多メダル
- 9位 自衛隊に駆け付け警護任務
- 10位 新都知事に小池氏





鹿児島県印刷工業組合

〒892-0847 鹿児島市西千石町12番27号

TEL 099-222-1839 FAX 099-223-1463

URL <http://www.kapia.jp> E-mail p-office@kapia.jp